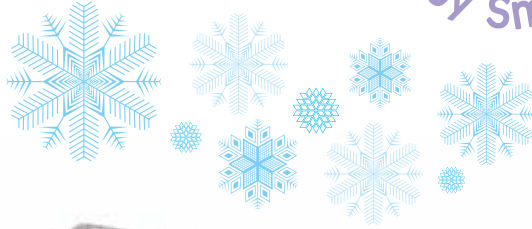


特定医療法人財団同愛会

博愛病院

博愛すまいるん♪

Enjoy Smile Up!



博愛探検隊「小児科・産婦人科外来の紹介」

教えてドクター「糖尿病」

すまいるニュース・お知らせ

外来診療担当医師 一覧表



小児科外来と 産婦人科外来を 探検だ！



ある日の小児科外来スタッフ



小児科一般診療

小児科の患者は発熱、鼻水、咳、嘔吐、下痢といった風邪が大多数を占めます。原因はほとんどが病原体による感染症です。これら感染症を中心とした急性疾患の診療を行っております。また、喘息・アトピー性皮膚炎といったアレルギー疾患、腎臓、肝臓疾患などの慢性の疾患も診療しています。病児保育「かるがも」のご利用前に病状把握のための診察も行っております。



専門診療

小児リハビリテーション

小児の発達障害（自閉症、注意欠陥多動など）、肢体不自由等のリハビリテーションの外来診療を行っております。
毎週月曜日、金曜日の午後1時半から午後2時半までの予約制です。

脳神経小児科

鳥取大学の脳神経小児科の医師による外来診療です。けいれん性疾患を中心として、乳幼児発達障害、「ことばの遅れ」等の外来診療を行っております。
頭部CT/MRIなどの画像検査、脳波などの生理検査も行っております。

第1、3、5木曜日の午前で予約制です。

予防接種

予防接種は鳥取県西部地区予防接種専門機関として、現行のほとんどのワクチン接種を実

産婦人科外来の 紹介

一般診察

「産婦人科？ 敷居が高くて…」産婦人科を受診する方がよく口にされる言葉です。

産婦人科での診察には内診という特徴的な診察法があります。これが敷居の高い大きな原因かもしれません。ただ子宮・卵巣・卵管の異常の早期発見には内診と共に進行しております経膈超音波診断が必要不可欠で、早期治療に繋がるのです。



ある日の産婦人科外来スタッフ

診療体制

火、木の午後以外は月金の午前8時30分から午後4時50分まで診療を行っています。なお、通常一診体制ですが、混雑時には二診体制にしてスタッフ一同、予約時間の厳守に努めています。



対象疾患

産婦人科診療には大きく分けて下記の3つの分野があります。

- **周産期**… 当院では平成26年より分娩を取り扱っていませんが、近隣の医院や大病院と連携して安全な分娩をして頂けるよう妊婦健診を行っています。
- **生殖**… 不妊を心配される患者様個々のライフスタイルを配慮しつつ、検査・治療を行っています。また最終的に体外受精など補助的生殖技術（ART）を必要な場合は高次機関へ紹介させて頂いております。
- **婦人科腫瘍**… 細胞診、画像診断（超音波、MRI/CT）、子宮鏡、コルポスコピーを駆使して診断し、積極的に手術を行っております。手術日は火、水、木で予約には1〜2ヶ月必要です。

手術・術式と疾患

- **子宮鏡下手術**… 子宮内に子宮鏡を挿入して行う手術です。
（子宮内膜ポリープ、粘膜下筋腫、筋腫分娩）
- **腹腔鏡下手術**… 腹腔内に腹腔鏡を挿入して行う手術です。
（良性卵巣嚢腫、子宮外妊娠、子宮内膜症性嚢胞）
- **開腹**… 子宮筋腫、卵巣嚢腫など
- **腔式**… 開腹せずに経膈で行う手術です。（子宮膀胱脱、子宮頸部円錐切除術）



教えてドクター

教えてドクターでは、
当院の医師が
病気をわかりやすく
解説します。

今回のテーマは、いつの間にか症状が
進行していく実は怖い病気、

「糖尿病」です。

① 糖尿病の現状

厚生労働省から発表された平成27年国民健康・栄養調査結果の概要によれば、「糖尿病が強く疑われる者」、すなわちヘモグロビンA1c6.5%以上、または「糖尿病治療あり」と回答した人の割合は男性19.5%、女性9.2%でした。30〜39歳では男性1.8%、女性1.0%ですが、年齢とともに急増し、70歳以上で男性27.3%、女性17.2%に達しています。

② 血糖とインスリン

血液中のブドウ糖のことを血糖と呼びます。ブドウ糖は体に必須の燃料です。人の体は約60兆個の細胞の集合体であり、燃料補給手段として、心臓を中心とする膨大な血管網からなる血液循環システムを持っていきます。ブドウ糖は水によく溶ける性質があります。細胞の表面は脂肪の膜でおおわれているため、簡単に通過することができません。細胞内にある運び屋の

助けが必要です。この運び屋を増やしてブドウ糖の取り込みを促進するのがインスリンの主な働きです。

さて、食物には、炭水化物、タンパク質、脂質の三大栄養素があります。炭水化物はブドウ糖がたくさん集まった構造をしていますので、食後は消化管から血液中に多量のブドウ糖が吸収されて血糖が上昇します。すると、膵臓からインスリンが血中に放出され、細胞内へブドウ糖が取り込まれてゆくため、血糖は再び元のレベルに戻ります。インスリンは特に筋肉、肝臓、脂肪組織に対する作用が大きく、取り込まれたブドウ糖はエネルギー源として使われる他、肝臓や筋肉にグリコーゲンとして蓄えられ、脂肪細胞で脂肪合成の原料となります。逆に食事から時間が経過するとインスリンの分泌量は低下し、肝臓に貯め込んだグリコーゲンの分解によるブドウ糖や、筋肉・脂肪組織由来の分解産物から肝臓で再合成されたブドウ糖が血中に供給されるようになります。



③ 糖尿病の病態

糖尿病ではインスリンが不足しているか、作用を阻害する物質が増えて働きが弱まっています。このため、ブドウ糖がなかなか細胞に取り込まれず、血糖が下がりにくい状態になります。

高血糖が年の単位で長期間持続すると、血管壁のタンパク質がブドウ糖と反応して変性し、血管が傷む危険性が出てきます。特に末梢神経の栄養血管、眼底の網膜血管や腎臓の濾過装置を形成する細小血管に反応が起こりやすく、末梢神経障害や網膜症、腎症といった合併症をひき起こします。これらの血管は細く、閉塞しても痛みがみせないので、気づかないうちに合併症が進行することになります。糖尿病を治療する一番の目的は血液中のブドウ糖を適正なレベルに保つことにより、血管が傷むのを防ぐことにあります。

④ 1型糖尿病と2型糖尿病

糖尿病には大きく分けると2つのタイプがあります。1型糖尿病はウイルス感染などが引き金となって膵臓のインスリン分泌細胞に対する免疫反応を生じ、細胞が破壊されておこります。比較的ま

れな疾患で、小児期の発症が多いですが高齢になって発症することもあります。2型糖尿病とは全く別の病態ですので、生活習慣病ではなく、インスリン注射が必要になります。

⑤ 2型糖尿病の成因

2型糖尿病には、遺伝、環境(生活習慣)、さらに時間(加齢)の要因があり、遺伝と環境の割合はおおよそ3対7とされています。2型糖尿病は肥満や体重増加の経過中に発症することが多いですが、これは必ずしも見た目に明らかな肥満とは限りません。遺伝的に糖尿病になりやすい体質のある人は、軽度の体重増加でも発症する可能性があります。一方、遺伝要因が強くない人でも肥満度が高まると発症することがありますので、2型糖尿病は誰でもなり得る病気と言えます。身長伸びが止まった後の体重増加は、トレーニングによる筋肉量増加の場合を除き、内臓脂肪を中心とした体脂肪の増加つまり内臓脂肪型肥満(腹部肥満)をもたらします。内臓脂肪はインスリン作用を阻害する物質を過剰に産生するとともに、ブドウ糖代謝に拮抗する脂肪酸の重要な供給源となり、糖尿病の発症と密接に関係しています。さらに、内臓脂肪型肥満は高血圧症や高脂血症を合併することが多

く、脳卒中や心筋梗塞などの重要な動脈硬化性疾患とも強く関連します。標準体重(身長×身長(M)×22)は、統計的に多数人から算出された最も死亡率の低くなる平均の値であり、各個人では身長の伸びが止まった頃(20歳前後)の体重が一つの目安となります。加齢に伴う要因として、骨格筋、特に下肢筋肉量の減少があげられます。筋肉量の減少は、基礎代謝の低下につながり、身体活動量の減少と合わせて消費エネルギーが減少し、糖尿病を発症しやすくなります。

⑥ 2型糖尿病治療の原則

食物を必要以上に摂取すると余ってしまいます。余った燃料は脂肪細胞に蓄えて肥満の原因となります。また、血糖を上昇させて尿糖として失うかのどちらかになります。糖尿病治療の第一は食事療法です。食事療法と言いつつ食事制限ととらえがちですが、食事を制限するために行うものではありません。1日に必要とする量を食べること、食事療法です。多すぎてもいけませんし、少なすぎてもいけません。ただ、実際は体が必要とする以上に食べている場合が多く、やむなく食事制限という結果になってしまいます。また、はじめに指示された食事が適正かどうかも定か

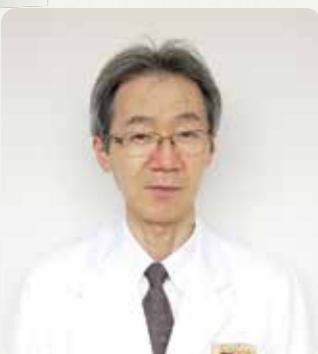


ではありません。経過を見て修正する必要があります。なかなか血糖が改善せず、体重も減量できない場合はまだ食事が多すぎるといふことになり、逆に血糖が改善し、さらに体重が標準体重を割って減少する場合は食事が不足している可能性があります。

もう一つ重要なことは、運動によって筋肉のブドウ糖の取り込みを増やすことです。運動すると筋肉細胞でブドウ糖の運び屋がどんどん増えてきて、インスリンと相乗効果を起こし、血液中のブドウ糖をさかんに細胞内へ取り込むようになります。例えば、歩き出すと15分くらいで血糖が下がりはじめ、運動後もしばらく効果が持続します。なお、運動がかえってストレスになってはいけませんので、無理のない範囲で、継続して行うことが大切です。

教えてドクター プロフィール

代謝内分内分泌内科部長
(生活習慣病センター長)
竹内龍男 医師



鳥取県境港市出身、昭和57年鳥取大学医学部卒、鳥取大学第一内科入局。昭和61年鳥取大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)。同年町立日南病院勤務。昭和62年鳥取大学第一内科医員、平成2年同助手、平成4年鳥取赤十字病院内科勤務、平成17年10月より現職。日本糖尿病学会専門医、研修指導医。

食事療法と運動療法を取り入れても十分な効果が得られない場合、薬物療法を考慮する必要があります。最近はいろいろな作用機序の薬剤が登場し、低血糖をおこしにくい薬剤を中心に投薬することが多くなっています。具体的な薬剤につきましては、主治医とよく相談して下さい。血糖コントロールの目標は、各人の病状に応じて設定しますが、血管合併症を予防するためには、HbA1c7%未満をめざすことが勧められています。



『がん患者・家族交流会』を開催しました
平成28年11月



『がん患者・家族交流会』を開催しました。
当院職員の勝部千里さんの講演、コール凜（鳥取県で活躍する若手合唱団）の歌、ライフツリー（人生の樹）の作成、茶話会、みんなで穏やかな時間を過ごしました。
患者さん、家族、ボランティアスタッフからは、「次回の開催を待っています。」と、温かい言葉をいただきました。
参加されたみなさんが、少しだけ心を解放でき、自然な笑顔になれました。
今後定期的に開催できたらと、企画検討中です。



日本乳癌学会認定施設に
なりました
平成29年1月

平成29年1月1日付で、日本乳癌学会認定医・専門医制度規則による認定施設に、博愛病院が認定されました。
本認定は、日本乳癌学会が、乳腺疾患の治療にあたる専門的な医師が常駐し、かつ、乳癌専門医を育成するために必要な要件を完備した施設に対して認定証が交付されるものです。鳥取県内では、鳥取赤十字病院、鳥取大学医学部附属病院、鳥取市立病院に次いで、博愛病院は4施設目となります。
乳がんの患者さんは、年々増加しており、また来年度からは、市町村で実施している乳がん検診が、マンモグラフィ単独検診となり、視触診がなくなります。
その中で、本認定の要件を満たす十分な体制・設備等が完備された病院で、乳がん患者さんの早期発見・早期治療を、乳がんの専門知識を習得した医師が診察に当たることが、この地域に必要であると考えております。
当院にはマンモグラフィ検査（5,000件以上/年）や乳腺エコー検査（7,600件以上/年）ができる女性技師も在籍しており、安心して検診・診療を受けていただけます。
安心、安全で質の高い医療を地域の皆さんに提供できるよう引き続き取り組んでまいります。

透析技術認定士の
資格を取得しました
平成28年7月

臨床工学部の二野宮技士が、透析技術認定士（公益財団法人医療機器センター）の資格を取得しました。
本資格は、臨床工学士、看護師の職種において透析技術に習熟し、透析管理を行う医療チームの校正要員を養育し、かつそのレベルの向上を図ることを目的とした資格です。
本資格を取得し、今後も最新の情報を入手していくことで、博愛病院透析室の医療・安全の質の向上に努めてまいります。



感染制御認定薬剤師の
資格を取得しました
平成28年10月

薬剤部の中山薬剤師が、感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会認定制度）の資格を取得しました。
感染制御専門薬剤師は、感染制御に関する高度な知識、技術、実践能力により、患者さんが安心して適切な治療を受けるために必要な環境を整備し、かつ、感染症治療に関わる薬物療法の適切かつ安全な遂行に寄与することを目的としています。
博愛病院をご利用いただく患者さんから、感染症の脅威を少しでも防げるよう努めてまいります。



「カフェすまいる」リニューアル
オープンしました
平成28年12月

博愛病院内の食堂および売店が、「カフェすまいる」としてリニューアルオープンしました。
入院生活や治療等に必要な物が、ドラッグストア等に行かなくてもすぐに準備できるための商品の充実はもちろん、各種モーニングサービスや食事の提供、イートインコーナーの設置、そして週替わりで提供するイベント商品の販売など、博愛病院をご利用いただくみなさんが満足していただける店舗にしていきたいと思います。
ぜひお立ち寄りください。
お問い合わせ先は、下記のとおりです。



はくあいミニコンサートのご案内

日時：平成29年3月21日（火） 16時00分から45分程度
場所：博愛病院本館1階中央ロビー
内容：MITRIASの皆様による、ミニバンド&サクソスの演奏と認知症予防の音楽療法



前回の様子

このミニコンサートで演奏をしていただける方を募集しています。
日頃より趣味やサークル活動等に励んでおられる地域のみなさまの発表の場としてぜひご活用ください。
詳しくは、TEL (0859) 29-1100 (代) 博愛病院広報担当をお呼び出してください。

無料 お気軽にお越しください。

がん相談外来を開設しました

たとえば、このような時にご相談ください。

- 今後の生活のことが心配、話を聞いてほしい。
- 誰にも相談できなくて困っている。
- 医療費・生活のこと。
- 退院後の生活は、どうしたらよいのか心配。
- 家族や仕事のことで悩んでいる。
- 抗がん剤の副作用のことについて詳しく聞きたい。
- 治療のことで、先生には直接聞きたい。



◆対象：がんと診断された患者さま
◆日程：外来受診日にあわせて
◆時間：30分～1時間程度
詳しくは、TEL (0859) 29-1100 (代) 博愛病院内線：1140 (がん相談外来)

おしかけ出前講座
注文受付中!!

お問い合わせ：博愛病院広報担当
TEL：(0859) 29-1100 (代)

がんや認知症、生活習慣病やリハビリ、薬や医療制度など、42種類のメニューの中からご希望の講座をお選びください。参加人数が10名程度お集まりいただければ、会場までおしかけて講座を開催します。



出前メニューの講座はすべて無料です。お気軽にご注文ください。

★メニューの詳細についてはお問い合わせください。
※開催地区は米子市内および近隣市町村です。
※ご希望日の1か月前までに、ご注文をお願いします。
※日程は平日（月・金）9時00分～16時00分の間で調整します。

高感度検出技術を用いた
インフルエンザ
検査機器を導入

当院では、昨年12月より高感度検出技術を用いたインフルエンザ検査機器を導入し検査を行っています。

迅速簡易インフルエンザ検査は、ウイルスに目印となる金微粒子を付着させ検出する方法です。ウイルス量が少ないと目印も少ないためウイルス感染を検出できないケースがありました。そこで少ないウイルス量でも検出できるように、ウイルスにつけた目印の増幅技術を用いた大きくした銀粒子を付着させることで目印を発見しやすとした方法が、今回導入した機器の特徴となっています。この機器の導入により、ウイルス量が少ない感染初期の検出率が向上し、早期発見、早期治療に貢献しています。

また当院では同様の技術を用いた肺炎マイコプラズマ検査も導入していますので、高感度技術を用いた幅広い呼吸器感染症検査に対応しています。



博愛病院 外来診療担当医師 一覧表

平成28年 10月1日 現在

診療科目		月	火	水	木	金
内科	1 診	ベースメーカー外来 田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)	●鳥大医師(第2,4) (循環器)	田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)
	2 診	大谷 正史 (消化器)	浜本 哲郎 (消化器)	大谷 正史 (消化器)		浜本 哲郎 (消化器)
	3 診	足立 晶子 (神経内科)	●鳥大医師(隔週) (神経内科)	足立 晶子 (神経内科)	安井 建一 (神経内科)	安井 建一 (神経内科)
	4 診	西井 静香 (呼吸器)	松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)	松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)
	5 診	榎田 豊 (呼吸器)			榎田 豊 (呼吸器)	
	6 診	●鳥大医師 (循環器)	●鳥大医師 (診療:9時30分~) (呼吸器)	重白 啓司 (呼吸器)	●鳥大医師 (呼吸器)	重白 啓司 (呼吸器)
	7 診		●鳥大医師(第1,3) (内分泌)			
	生活習慣病 センター	生活習慣病外来 竹内 龍男 (糖尿病)	竹内 龍男 (糖尿病)	●鳥大医師(第1,3) (内分泌)	竹内 龍男 (糖尿病)	
午後診	予約再来					
小児科	1 診	原田 友一郎	原田/福永 交代	原田/福永 交代	原田/福永 交代	福永 真紀
	2 診	福永 真紀		原田/福永 交代		原田 友一郎
	3 診 (脳神経小児科)				●鳥大医師(第1,3,5) (診療:9時~12時)	
	午後診	福永 真紀	原田/福永 交代		原田/福永 交代	原田 友一郎
	予防接種・乳児健診 ※受付は各30分前~	予防接種 (13時30分~)	予防接種 (13時30分~)	乳児健診(13時30分~) 予防接種(14時~、15時30分~)	予防接種 (13時30分~)	
	小児リハビリ テーション	原田 友一郎 (13時30分~14時)				原田 友一郎 (13時30分~14時30分)
急患診療(18~22時)		原田/福永 交代		原田/福永 交代		
外科	1 診	近藤 亮	安宅 正幸	角/近藤/安宅/竹本 交代	角 賢一	竹本 大樹
	3 診 胸部外科 (内科7診)	安宅 正幸	竹本 大樹	工藤 浩史(乳腺)	近藤 亮	角 賢一
	血管外科 (内科7診)		●鳥大医師(第2,4) (診療:9時~) (受付:11時30分まで)			●鳥大医師(第2,4) (診療:9時~)
	午後診	予約再来				
乳腺センター(14時~16時)		角 賢一	工藤 浩史	工藤 浩史		
整形外科	1 診	奥野 誠	中村 達彦	奥野 誠	中村 達彦	奥野 誠
	2 診	山本 吉蔵			山本 吉蔵	●鳥大医師 (診療:9時~)
	専門外来 骨粗鬆症	人工関節 骨粗鬆症		人工関節	人工関節 骨粗鬆症	人工関節
リハビリテーション科	午後診	中村 達彦				
産婦人科	午前診	石原 幸一	片桐 千恵子	●伊藤 隆志	片桐 千恵子	石原 幸一
	専門外来	腫 瘍				腫 瘍
	午後診	片桐 千恵子		●伊藤 隆志		石原 幸一
泌尿器科	午前診 (受付:11時まで)		●鳥大医師 (診療:9時30分~)			●宮川 征男
眼科	午前診(受付:11時まで)	●小松 恵子	●鳥大医師	●小松 恵子	●小松 恵子	●小松 恵子
麻酔科 (ペインクリニック)	午前診	堀 真也	[月曜日隔週、再来患者さんの診療のみ行います。]			
午後診	堀 真也	詳しくはお問い合わせください。				
放射線科	午前診	中村 希代志	中村 希代志	交代医	中村 希代志	中村 希代志
	午後診	中村 希代志	中村 希代志	交代医	中村 希代志	中村 希代志
皮膚科	午後診				●鳥大医師(診療:14時~)	
ドック健診		前田 迪郎	前田 迪郎	前田 迪郎	前田 迪郎	前田 迪郎
		●西村 興亜	工藤 浩史		工藤 浩史	●西村 興亜

※内科、外科、整形外科の午後は原則、予約再来ですが、救急、紹介患者さんにつきましては従来通り対応しています。

●は非常勤医師です。 各診療科とも、緊急手術等のため休診となる場合がございますので、事前にお電話等でご確認ください。

受付・診療時間	午前	午後	お問い合わせ
受付時間	8時00分~12時00分まで	14時30分~16時50分まで	〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地
診療時間	8時30分より	15時00分より	TEL. 0859-29-1100(代)